

平成28年度 弓道教室の様子

5月14日から6月18日までの期間行われた全11回の教室が終了し、目下、参加を希望する受講生に対し、後期講習が行われています。教室期間中は射法八節（弓を押し開き、矢を放す手段）を主体とした射場での作法全般を学習しましたが、後期講習では、巻藁に向かって伸び伸びと矢を放ち、射法八節の更なる習熟へと向かっています。

彼らはそろそろ気付いているはずですが。正しく弓を引くことは弓の力に対抗する強い気持ちが必要で難しいことであるが、少しずつ克服し、これが苦しくも、楽しいことであることを・・・^^



- 5/28（土）4回目の教室です。時間にして6時間経過。28m先にある直径36cmの的に向かって矢を放すところです。
- 押し開いた弓の元の形に戻ろうとする力を、身体と気力で押し返さなければなりません。実はこの時、心気の安定が求められるのです。この辺が弓道のやりのあるところなのです。



- 6/18に行われた閉校式の様子です。この日は全員が一手（ひとて・・・2本の矢）を持ち、審査の間合にてこれまでの成果を披露しました（立派に出来、講師一同感動しました ^^）。
- 皆さん、姿勢を正しくして、宮田範士の講評を拝聴しています。



- 6/28から行われている後期講習会で、巻藁に向かって稽古している様子です。
- 手前の生徒は弓を打起した後、大三（だいさん）の形を取ろうとしているところです。その前の生徒は矢を放った直後の残身の姿勢です。前の二人の生徒は、弦に矢を番えているところです。